

令和 7 年度 令和会 行政視察報告書

日 時 令和 7 年 7 月 28 日（月）～30 日（水）
視察先 石川県野々市市、富山県射水市、富山県氷見市
視察者 加須市議会 令和会
原田、関口、竹内、中島、赤坂、内田、山本、小坂
視察先

石川県野々市市

概要 2025. 5. 31 現在

	野々市市	加須市
総人口	58, 784	111, 864
総面積	13. 56	133. 30
世帯数	25, 990	51, 661
平均年齢	41. 5	46. 7
構成割合 15 歳未満	15. 0	12. 0
15 歳～64 歳	64. 8	62. 1
65 歳以上	20. 2	25. 9
市議会定数	15	25

市内に石川県立大学と金沢工業大学の 2 つの大学があるため、20 歳前後の人口が突出して多い市であり、人口の増加が続いている市として突出している。

視察概要

「にぎわいの創出について」. 図書館を中心とした、にぎわい創出の先行事例として野々市市の取組について視察する

具体的な視察事項

PFI 方式を採用した「学びの杜ののいちカレード」（公益文化施設）が市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働におけるシンボルとしてオープンされ、PFI 導入の検討経過及び今後の展開と課題について学ぶこと。

参考「2017 年 11 月 1 日オープン 敷地面積 18, 822. 80 m² 建築面積 4, 806. 99 m² 延べ床面積 5, 695. 76 m² 」 カレードとは「図書館には森羅万象が記録されている。図書館の潜在的な在り方を視覚化した姿」とのこと

主な質疑応答

質問	回答
複合施設をこの場所に作ろうとする構想・計画は、いつごろから計画されたのか伺います	5 年間前から計画し平成 2 9 年 1 1 月に開館しました。
PFI を採用する経緯と「三上建築事務所」を選択した理由について伺います。併せて、契約形態についても伺います	野々市市では、従来 PFI 方式を採用して実績を積んでいたもので、補助金が獲得しやすいメリットからこの方式を今回も採用しました。

	野々市中央まちづくり（株）（SPC）が検討して「三上建築事務所」を選定したと聞いています。
様々なイベントが計画され実施されていますが「日々のイベントの立案・実施」はどの部署が担当されているのか伺います	（株）図書館流通センターが企画して実施しています。
「にぎわいの創出」の成果についてお伺いします。イベントへの来客数、図書館の利用者数の推移など成果として現れたことについてお伺いします	来館者の目標は達成されました。 休日の滞在者が増えているデータが上がってきていることから、純粋な図書館利用のほかに「市民学習の場」あるいは「イベントへの参加」が寄与して来館者が増えていると考えています。

所感 担当 関口、竹内、赤坂

図書館を中心としてPFI事業の素晴らしさに感動いたしました。 単に図書館だけでなく、「文化・芸術」、そして情報発信についても、その複合施設としての役割を兼ね備えるものと思いました。 加須市にもこのような構想を持った文化施設が必要だと感じました。

富山県射水市

富山市と高岡市の中間に位置し、多様な幹線交通網がある一方で、人口減少と高齢化が進んでいる。

概要	2025. 5. 31 現在	
	射水市	加須市
総人口	88, 131	111, 864
総面積	109. 4	133. 30
世帯数	37, 553	51, 661
平均年齢	46. 4	46. 7
構成割合 15 歳未満	10. 7	12. 0
15 歳～64 歳	55. 9	62. 1
65 歳以上	33. 4	25. 9
市議会定数	22	25

視察概要
「都市公園について (Park - PFI 制度を活用した公園内屋内公園遊具場)」について

加須市では現在、新たな病院立地を契機に民間活力を活用した様々な都市機能が集積する「魅力ある新しいまち」の実現を目指しています。コンセプト実現に向けた都市機能のひとつとして、子どもを安心して遊ばせることのできる遊具等を設置した公園の導入を検討しています。そこで、PFIを導入し整備された都市公園について視察をする。

主な質疑応答

質問	回答
屋内遊具場が必要とされた経緯をお伺いします。	射水市は、「雨・雪」で年間 40%以上、屋外でのこどもたちの活動ができません。よって、屋内施設の充実を進めています。
インクルーシブ遊具や乳幼児用スペースが採用された経緯をお伺いします。	誰でもが自由に、簡単に楽しく遊ぶことのできる施設が必要との考えから積極的に採用をいたしました。
駐車場に「配慮が必要な人向けの駐車スペース」が設けられるとありますが、具体的にどのような工夫がされているのかお伺いします。	周りに大きな商業スペースがあり、一般の来場者の方はそちらを利用することが多いと感じています。 ただし、「配慮が必要な方の為に」入り口近くに 7 台分の駐車場を用意しました。
PFI を採用した経緯と契約形態・契約金・年間費用	民間活力の導入が必須と考えたからで

等について伺います。

す。

完成後の契約については、喫茶部分が未着工であることから、正式には、指定管理者制度を含めて検討中です。

所感 担当 山本、小坂、中島、原田

PFI を活用した建設、維持管理、運営を民間の力を利用し、効率的・効果的な公共サービスを行なっている「くるりんパーク」 まだオープンして一年あまりだが、連日の猛暑日でも安心して遊べる施設、この地方の厳冬期にも十分に対応出来る施設である事を実感しました。

また、その隣の芝生広場(夏は暑く、冬は極寒)については疑問がありましたが、その地下は雨水の貯水槽になっている事を知り、無駄の無い税金の使い方で市民に還元されている市政の信頼度を感じさせていただきました。

更に、産業団地との融合による立地も、今後の進展に大変、期待が持てる取り組みであると感じました。

加須駅南口の新しいまちづくりに、多いに参考にして取り組みたいと感じさせられました。

富山県氷見市

富山県の北西部に位置し、自然豊かな農村漁村地帯が広がる地域。高齢化率は37.5%で、年少人口は年々減少する一方、世帯数は増加し、典型的な少子高齢核家族化が進む地域になっている。

概要

2025. 5. 31 現在

	氷見市	加須市
総人口	41,607	111,864
総面積	230.3	133.30
世帯数	17,279	51,661
平均年齢	53.8	46.7
構成割合 15歳未満	9.2	12.0
15歳～64歳	51.2	62.1
65歳以上	39.6	25.9
市議会定数	17	25

視察概要

地域防災について

ほんしの地域防災計画等では、今後いつ起こるかわからない災害に対し、市民の生命・財産を守るため、更なる見直しを進めていき、防災力の向上を図る必要があると考えています。

今回は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に係る貴市の対応（災害時対応、避難所での対応、その後の地域防災計画への反映、復興に係る対応等）について広く学ぶため視察を行う。

主な質疑応答

質問	回答
令和6年9月1日 氷見市総合防災訓練が実施されましたが、能登半島地震を経験されて、内容等の変更は、計画されたのでしょうか。また、市民の方々の参加意識に変化は見られたのでしょうか。	参加意識は、高くなりました。 しかし、市の高齢化が進んでいることから、避難に関しては、この課題を解決することも重要と感じています。
「携帯電話向け緊急速報メール」について 市民の生命に直結する、緊急性が高い災害・避難情報を提供が必要であると判断された場合に「土砂災害警戒情報」、「高齢者等避難」、「避難指示」など避難に関する情報、「その他緊急情報」などを提供します」とありますが、能登半島地震の時の状況について教えてください。	携帯電話、ケーブルテレビ、防災ラジオ、防災無線等が、それぞれの年代に対し有効であったと考えています。 どの方法が有効であったかというよりも、広く情報を発信することが必要と感じました。

「防災行政無線」について 平常時、「聞こえる聞こえない」等の苦情はあるか、また能登半島地震発生時「防災行政無線」は、その役割を果たすことができたのか伺います また、その後の復興の時に「市からの情報伝達の手段として」有効に機能したのか伺いします	同様の意見は、承っています。 しかし、多様な情報提供は必要であると考えことから、「防災無線による情報発信」は必要な手段と考えています。
--	---

所感 内田、関口、原田

能登半島地震では、大きな被害を受けた事に、お見舞い申し上げます。 実際に体験され、まだまだ復興の道なかばに、真摯な対応をして頂いた職員の皆さんの温かさに触れた事に御礼申し上げます。 加須市では、東日本大震災のおりに福島県双葉町の町民の皆様を受け入れた経験も有り、とても他人事では済まされない想いで、お話を伺いました。 一番印象に残ったお話は、厳しい自然環境の中で培われた人と人との繋がり、強固な関係が、復興を後押ししているのだと感じ、ホッとした不思議な感覚を味わうことが出来ました。 また、緊急時のごみ等の一時保管の在り方など、国とのやりとりや補助体制の一考が必要であるとも感じました。 たくましく復興に向けての努力に感激しました。一日も早く日常を取り戻す事ができますよう、お祈りしております。
